

【会議録】第58回筑紫野市コミュニティ連絡会

《日時》 令和2年5月13日(水) 13時20分～15時45分

《場所》 二日市東コミュニティセンター 2階 会議室

《参加者》 各コミュニティ運営協議会 会長7人

《次第》

1. 会長あいさつ

2. 各自治会への依頼事項について

以下の項目について、区長(自治会長)へ依頼文書を郵送することとした。

- ① 防犯灯設置補助金制度の周知について(危機管理課)
- ② コミュニティ助成事業について(企画政策課)

3. 情報交換

新型コロナウイルス感染症対策の長期化も予想される中、どのような形で地域活動を行っていくか情報交換を行った。また、現時点でのコミュニティ運営協議会の5月・6月の行事の取り扱い、各自治会の夏祭りや敬老会等の取り扱いについて情報交換を行った。

引き続き、この状況下での各種行事の開催方法、開催内容等について情報交換を行っていくこととした。

夏祭りについて

- ・実施時の問題点として、以下のとおり整理。
 - ① 密集、密接が避けられない
 - ② 飲食を伴うため、マスク着用の徹底が困難
 - ③ 行政区での消毒液の手配、設置が困難
 - ④ 休校に伴う対応により学校側の協力を得るのが困難
(子供たちの参加が難しいのでは)
 - ⑤ 当日だけでなく、事前の準備等でも感染の危険性がある

コミュニティ連絡会としての申し合わせ事項

各コミュニティにおいて、自治会に対して強制はできないが、夏祭りの開催自粛に向けて足並みを揃えるように調整を行う。

4. 協議事項：持続可能な体制づくりについて

令和3年度以降の活動と組織体制について、各コミュニティ運営協議会に対し行ったヒアリング結果について、以下のとおり確認した。

(1) 活動

基本的な考え方を以下のとおり確認した。

- ① 課題（防災、福祉、教育等）が解決されていると地域住民に思っていただけのような活動を増やしていく。
- ② 地域の活動をとおして、地域の人材育成と確保を行っていく。
- ③ 「持続可能な体制づくり」のため、今後継続すべき事業を整理するとともに、組織体制等の見直しを進めていく。

(2) 組織体制

役員手当、事務員手当等必要と考えられる金額についての確認を行った。

5. 事務連絡

事務局より、以下のとおり事務連絡を行った。

- (1) 公益財団法人筑紫野市文化振興財団評議員選定委員推薦について、コミュニティ連絡会会長を推薦することとした。
- (2) 人権問題啓発実行委員会への委員推薦について、各コミュニティの会長を推薦することについて確認。また、コミュニティ連絡会会長を幹事とするについて併せて確認した。
- (3) 地域コミュニティづくり交付金関係について
 - 令和2年度交付金額を決定し順次概算払いを行うことを確認した。
 - 令和元年度の実績報告について、総会后速やかに提出するものとした。また、決算報告については交付金の充当先を明示した資料を準備するものとした。
 - 備品購入時の協議について、金額の多寡に関わらず事務局と協議を行うものとした。（備品…1万円以上で複数年使用する物品）
 - 令和3年度以降の人件費について、今回のヒアリング結果から変更を行う場合は事務局へ連絡を行うこととした。
- (4) コミュニティ連絡会負担金について、令和元年度分の監査報告を行った。また、令和2年度分について、各コミュニティ運営協議会宛で6月中に請求書の送付を行い、7月連絡会を目途に事務局へ持参することとした。

6. 次回の会議

◆コミュニティ連絡会

- (1) 日 時／ 令和2年6月3日(水) 14時00分～15時00分
- (2) 場 所／ 二日市東コミュニティセンター 2階 学習室1
- (3) 出席者／ 各コミュニティ運営協議会 会長7人